

# 都市計画道路を考える 小金井市民の会

第49号 2020年4月5日  
発行 都市計画道路を考える  
小金井市民の会  
連絡先 電話090-7847-3968 (事務局:阿部)

## 優先整備路線

### 小金井は 3・4・1と3・4・11号線の事業化を認めない！

西岡市長は、昨年の市長選挙で、「市民の望まない都市計画道路は作らせない」と公約しました。  
また、市議会でも「地元への配慮がない以上、市長としてその事業化を了解するわけにはいかない」ということを言い続けております(2019年11月)と繰り返し表明しています。

#### 小金井市長は

#### 小金井市議会は

##### <市議会が可決した意見書>

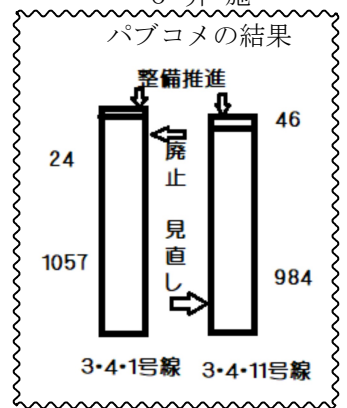
- 2016年 道路「小金井3・4・1号線」「小金井3・4・11号線外」の計画の見直しを求める意見書
- 2017年 都市計画道路「小金井3・4・1号線」「小金井3・4・11号線外」の計画について見直しと誠意ある対応を求める意見書
- 2017年 都市計画道路「小金井3・4・1号線」「小金井3・4・11号線外」の整備計画の見直しと意見交換会の在り方の改善を求める意見書
- 2018年 都市計画道路「小金井3・4・1号線」及び「小金井3・4・11号線外」の計画見直し、並びに「小金井3・4・11号線外」の整備の是非について協議できる場の設置を求める意見書
- 2019年 「小金井都市計画道路3・4・11号線外」に関する意見交換会の継続を求める意見書
- 2020年 小金井都市計画道路3・4・11号線外に関するオープンハウスでのアンケート及び意見交換の内容を全て公開し、道路整備の必要性について話し合う場の設定を求める意見書

##### <市議会が可決した決議>

- 2019年 都市計画道路「小金井3・4・11号線」に関し、迅速な対応を求める決議
- 2019年 西岡市長に、東京都へ「都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会の継続開催」の働きかけを求める決議
- 2019年 西岡市長に、市議会の決議を重く受け止め、東京都へ「都市計画道路3・4・11号線の是非を議論できる場の設定」を求める決議
- 2020年 西岡市長に、東京都へ「都市計画道路3・4・11号線に関する環境現況調査に着手しないこと」「都市整備局との意見交換の設定」を文書で伝えることを求める決議

東京都が、第四次事業化計画を決定する前に実施したパブリックコメント(意見募集)では、小金井の2路線について意見を提出した市民のうち、96%以上が廃止・見直しを求めました。  
また、小池都知事に見直しを求める要請書には、10492人から賛同の署名が寄せられました。

#### 小金井市民は



3・4・1号線、3・4・11号線  
市民の望まない  
都市計画道路は  
作らせない

小金井市議会は、3月定例会で都市計画道路について、意見書と決議を採択しました。全文を2面・3面に掲載しました。

3月の市議会定例会で、「現行のマスタープランに記載されていることと異なる表現をしてもとくに支障はないと判断してよいか」との質問に対し、都市計画課長は、「異なることもあり得るということだ」と答弁しました。

そのなかで、現在のマスタープランには「3・4・11号線(連雀通り以南)は東京都に整備推進を要望する」としていますが、この記載をめぐって、3月の市議会定例会で、「現行のマスタープランに記載されていることと異なる表現をしてもとくに支障はないと判断してよいか」との質問に対し、都市計画課長は、「異なることもあり得るということだ」と答弁しました。

「マスタープランの記載変更可能」と答弁  
3月の市議会定例会でも、2月に開催されたオープンハウスや、マスタープランや、西岡市長の対応などについて、たくさんの議員から質問や意見が提起されました。

3月市議会定例会でマスタープランや市政について質疑  
小金井市は、2年後のマスタープランの改定に向け、検討を開始しました。

# 東京都は交通渋滞緩和のためというが

2月のオープンハウスでも、東京都は「周辺道路の交通渋滞緩和に道路は必要とパネルと説明で強調しましたが、本当でしょうか。これから人口が減っていくとともに、高齢化社会で車離れは進む一方です。自動車のための道路でなく、歩行者・自転車に安全なまちづくり、公共の交通機関が一層求められるようになっていくのではないのでしょうか。小金井の市民団体「野川ほたる村」がおこなった交通量調査（左の表）でも、交通量が減ってきていることを示しています。（下図は、東京都が南北の道路間のよりが広がるので渋滞しているという説明図。）

オープンハウスでの東京都の展示資料



**どうな**

新型コロナウイルスで、生活が営業が大変な事態になっている。ところが、都市計画道路の事業には相変わらず、莫大な費用をかけようとしている。

お隣の西東京の3・2・6号線（調布保谷線）は1000億円を超える事業費。

小金井の2路線のような不要不急の計画道路は中止して、都民の命を守る予算に充てるべきではないでしょうか。

## 投稿

### “はけ”の写真

川幡由利子

数年前、私は小金井市内の知人宅を訪れた。そのお宅の玄関に飾られていた一枚の写真、それは川霧立ち込める冬の野川で、ひと目で気に入った。例えば奥様が撮られたという。「家内はよくひとりで野川に出かけるんですよ」と教えて下さったのだが、私の勝手な思い込みで穏やかで落ち着いた感じの奥様が、と少しびびりした。冬の早朝、シャッターチャンスを狙ってひとり待つという行為を想像し、年配のその方に密かに憧れを抱いた記憶がある。そのこともあって我が家の小さな居間には私の撮った、はけの写真を飾っている。知人宅とは比べ物にならないがお気に入り。息子が訪れた際「いいでしょ」とついプチ自慢。彼の答えは「余裕があつていいね」だった。子育て世代の息子には、写真の内容よりその時間を使えることが羨ましかったらしい。でも何と言われようと、はけの四季の写真は撮り続けるつもりである。

周辺の交通量 (H27年は国交省交通センサス、H30年は野川ほたる村の実測調査)

道路名	観測地点	H27年	H30年	H30/H27
東八道路	多磨町4	22,620	22,333	98.7%
小金井街道	前原町5	7,384	6,536	88.5%
小金井街道	御幸町	9,536	8,902	93.4%
連雀通り	東町2	7,273	6,634	91.2%
新小金井街道	浅間町3	10,971	10,121	92.3%
新小金井街道	貫井北町3	16,750	14,859	88.7%
天文台通り	井口4	9,558	9,051	94.7%
五日市街道	桜堤3	10,245	9,999	97.6%
五日市街道	御幸町	7,591	6,893	90.8%

(数値は1日の12時間の交通量 単位：台数)

### <前回の世話人会以降の活動経過>

- 3月5日 第49回世話人会
- 3月5日 会報第48号発行
- 3月26日 多摩地区道路連絡会
- 4月2日 第50回世話人会（コロナウイルスで公民館休館のため中止）

### <今後の日程>

- 5月7日 第50回世話人会

### <他地域の裁判・集会など>

- 4月18日 13時 あの街この道見て歩き（立川3・3・30号線）モノレール泉体育館駅集合
- 4月20日 14時 大山26号線裁判
- 4月27日 11時30分 外環道青梅街道IC裁判（522号法廷）
- 5月11日 14時30分 十条再開発裁判（103号法廷）
- 5月15日 14時 志茂86号裁判控訴審（101号法廷）
- 5月23日 13時 あの街この道見て歩き（環状4号線）
- 5月27日 14時 東京外環道訴訟（103号法廷）

# 小金井市議会が3・4・11号線に関し、意見書と決議を採択

小金井市議会は、3月の第4回定例会で、3・4・11号線に関する意見書と決議を採択したので、紹介します。

## 小金井都市計画道路3・4・11号線外に関するオープンハウスでのアンケート及び意見交換の内容を全て公開し、道路整備の必要性について話し合う場の設定を求める意見書

東京都が、2月21日から3日間にわたって開催したオープンハウスでは、市民に誤解を与えかねない内容や道路整備の理由を後付けしたような展示があり、市民の指摘により、展示内容が変更されるなど精度が低かった。説明員として配置された東京都職員による事業期間等についての説明も異なり、市民への情報提供の在り方に問題があったと言わざるを得ない。

そして、意見交換の場は、事前に定員20名という制限がある旨が周知されなかったため、定員オーバーで参加できなかった市民が複数発生した。マイクが使えない会場内は声が聞きづらく、意見交換する際の障壁となっていた。さらに、意見交換時にメモや録音をとっていないことを市民に厳しく指摘され、東京都職員が個人のスマートフォンで録音する場面も見られた。そもそも、意見交換をするための環境が整っていなかったと言わざるを得ず、大変に遺憾である。参加者の意見は、公開し共有すべきである。また、会場にいたのは、建設局の職員のみで、都市整備局の職員はいなかった。これまでの意見交換会で参加市民が求め続けてきた、道路建設の是非から意見交換できる場にはならなかった。

東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）策定時のパブリックコメントで半数を超えた小金井市内2路線に対する意見の9割は、反対や見直しの意見であり、東京都に提出された反対署名は1万筆を超え、意見交換会は3回連続で不成立となった。自然環境や住居を壊してまで道路を建設することの理解は得られていないことは明らかである。東京都は、今後環境影響調査を進めていきたい旨を明らかにしているが、微塵も許容できない。

小金井市議会は、これまで5度にわたり、計画見直しや対応の改善を求める意見書を送付しているが、真意を捉えた対応になっていないことは遺憾である。住民自治の軽視にほかならない、「都民ファースト」という小池都知事の公約とも程遠い対応に抗議し、改めて市民との真の対話を求める。

よって、小金井市議会は、東京都に対し、オープンハウスのアンケートに寄せられた全ての意見及び意見交換の内容を、誰でも閲覧できるように公開し、改めて道路整備の必要性について、市民と都市整備局が意見交換できる場を設けることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月24日

小金井市議会議長 五十嵐 京子

東京都知事様



3・4・11号線に関する東京都の概略設計案。ほかに擁壁案・トンネル案がある。



## 西岡市長に、東京都へ「都市計画道路3・4・11号線に関する環境現況調査に着手しないこと」「都市整備局との意見交換の場の設定」を文書で伝えることを求める決議

西岡市長は、昨年12月の市長選挙では、「私が市長である以上、市長が了承できない下で事業を進めることはあってはならない」「その姿勢を持って今後とも意見交換会の継続など、しっかりと対応をさせていただく」などを街頭で訴え、再選を果たした。市長選挙において特に目新しい政策が見当たらない中で、都市計画道路に関する対応の期待が寄せられたとも言える。

東京都が、2020年2月21日から3日間にわたり開催した都市計画道路3・4・11号線に関するオープンハウスでは、市民に誤解を与えかねない内容のパネル掲示や、東京都の職員ごとに説明の内容が異なるなど、適切とは言いがたい運営であったことは遺憾である。また、開催中に行われた意見交換は、「建設の是非」について意見交換できる場ではなく、記録を取る意思がないこと、会場ではマイクが使えないことなど、意見交換する環境整備にも不備があった。

東京都は、2020年度において環境現況調査を進める旨を説明していたが、これは任意で行うとしても事業着手を前提とした準備行為に変わりはない。先述したとおり、オープンハウスは形骸化した市民参加でしかなく、西岡市長が求めてきた「市民の理解」を得るところか東京都への不信が増幅され、事業着手に向け更に一步進められる段階ではないことは明らかである。小金井市での新たな都市計画マスタープランの策定議論がこれからでもあり、このような状況下で東京都が環境現況調査に着手することは、地元自治体として決して許してはならない行為である。

よって、小金井市議会は、西岡市長に対し、以下の事項について早急に東京都へ文書で伝えることを求めるものである。

- 1 都市計画道路3・4・11号線に関する環境現況調査に着手しないこと。
- 2 当該道路整備の必要性について、市民と都市整備局が意見交換できる場を設けること。

以上、決議する。

令和2年3月24日

小金井市議会

### あの街「の道見て歩き(第2回)」 立川3・3・30号線

立川駅の東側を南北に結ぶ計画がある。一旦中止になった計画だが、中央線の北側の計画が3年前に動き出した。

中央線の南側の住民が北側の次は自分たちにも通名がってくると、運動を始めた。いまでは、北側の住民も立ち上がっている。



この計画地を見て歩きます。

道路連絡会の第2回の「見て歩き」に御参加ください。

参加費 500円  
(資料代)

日時 4月18日(土)

集合時間 13時

集合場所 多摩モノレール泉体育館駅

視察地 立川3・3・30号線予定地

主催 道路連絡会

参加希望の方は事務局  
までご連絡ください